

第6回 日本糖尿病対策推進会議総会

日本医師会かかりつけ医 糖尿病データベース研究事業 (J-DOME)

平成30年12月6日

日本医師会総合政策研究機構
江口 成美

内容

1. J-DOMEの概要
2. かかりつけ医の糖尿病症例について
3. J-DOMEの今後の予定

1. J-DOMEの概要

背景

国民の健康寿命の延伸に向けて



- ◆ 糖尿病腎症重症化予防の推進 ←国の重点課題
- ◆ 身近なかかりつけ医の役割の高まり
- ◆ 糖尿病患者の65%は診療所を受診
- ◆ かかりつけ医の診療情報は不足
- ◆ 日本糖尿病対策推進会議から提言

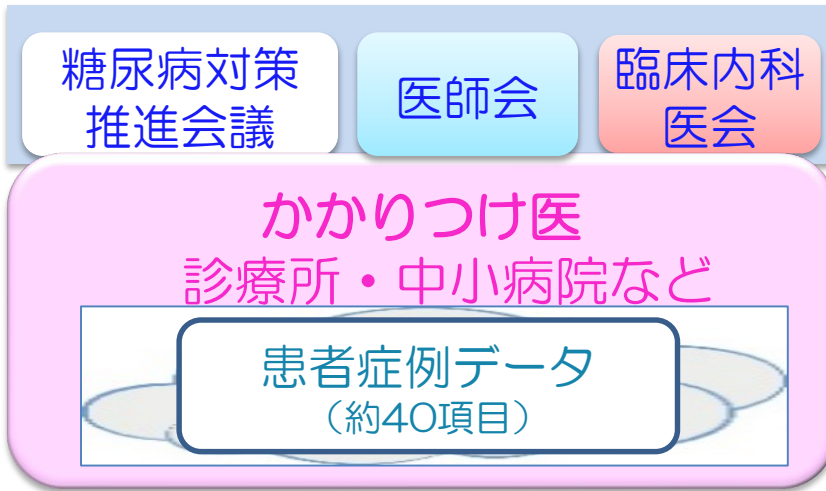
J-DOMEの目的

- ◆ 症例レジストリを構築してかかりつけ医の診療の実態把握
- ◆ 参加施設にフィードバック
- ◆ 継時的な把握や連携のためのツール



糖尿病診療の均てん化と
かかりつけ医機能の強化を図る

J-DOMEの全体像



日本医師会かかりつけ医 糖尿病データベース研究事業

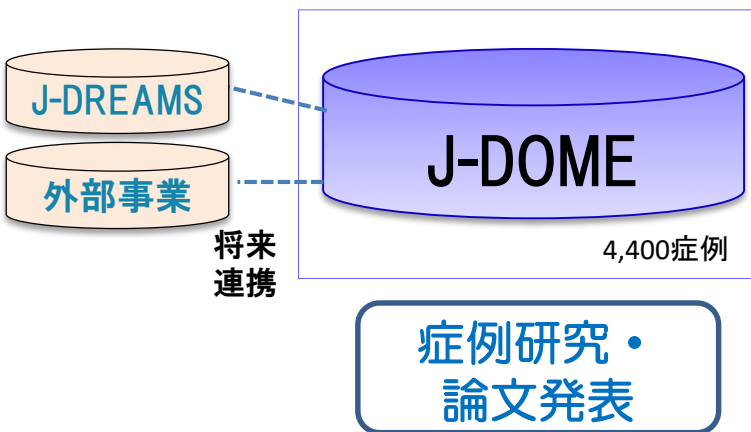
J-DOME :

Japan medical association
Diabetes database of clinical Medicine

情報提供
レポート ↑ ↓ 症例登録

収集項目

分類	項目
基本情報	年齢、性別、身長、体重、通院歴など
特性 (☑をつける)	診断年齢、家族歴、喫煙歴、飲酒頻度、生活指導など
他科受診・合併症 (☑をつける)	歯科定期受診、眼科定期受診 網膜症、腎症、神経障害、足病変
併発疾患 (☑をつける)	認知症、脳卒中、がん、冠動脈疾患
検査値	血圧、血糖値、HbA1c、HDL、中性脂肪、ALT、血清クレアチニン、尿蛋白 など
処方薬 (☑をつける)	糖尿病治療薬 (DPP-4阻害薬、ピグアナイド薬など)、降圧薬、脂質異常症治療薬
その他 (☑をつける)	要介護度、外来受診が途切れた場合の理由 など



対象とする医療機関と患者

医療機関・医師

糖尿病診療を行うかかりつけ医

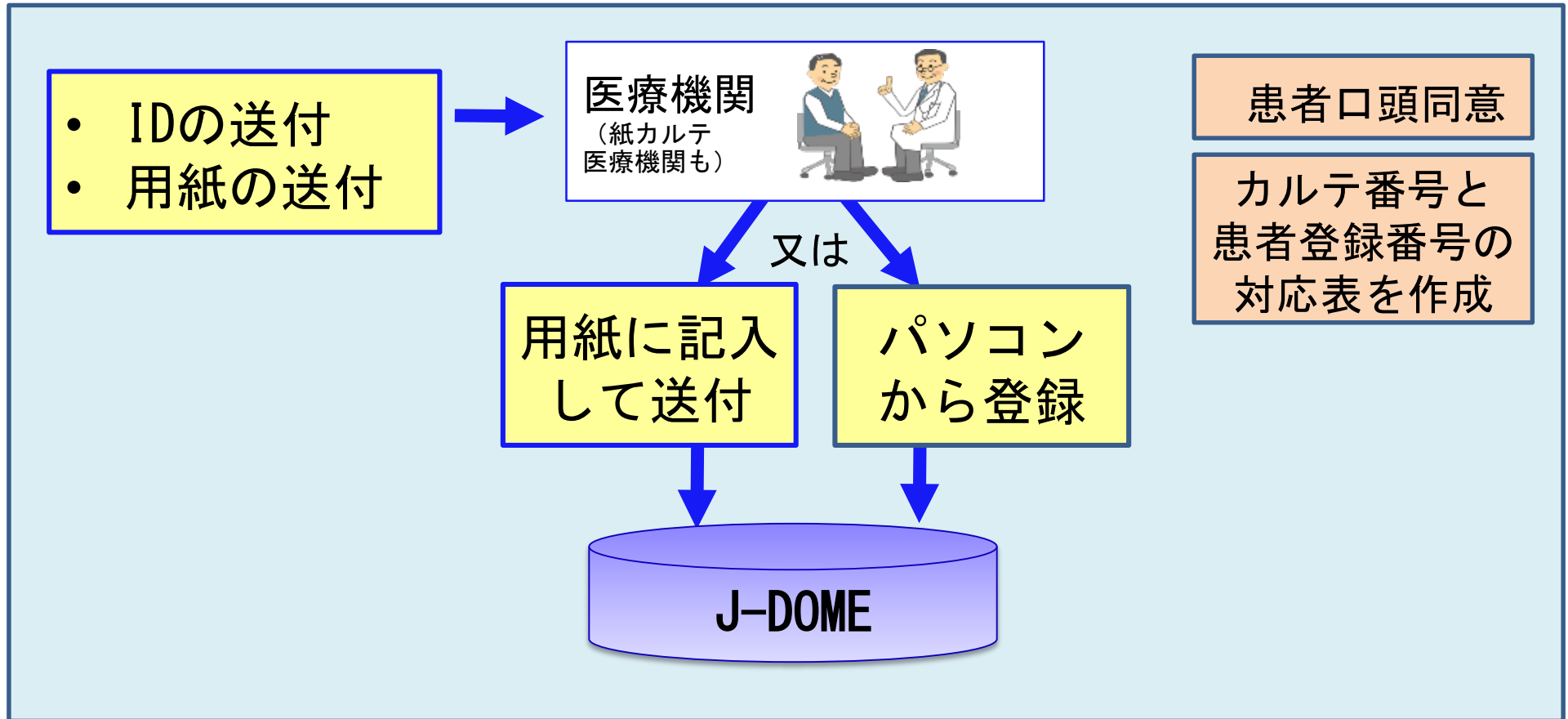
J-DOMEの対象施設
(オレンジ色)

	糖尿病 専門医 【専門医】	糖尿病を専門と しない医師 【一般医】	
	診療所	診療所	J-DOME
	中小病院	中小病院	
J-DREAMS	大病院	大病院	

患者

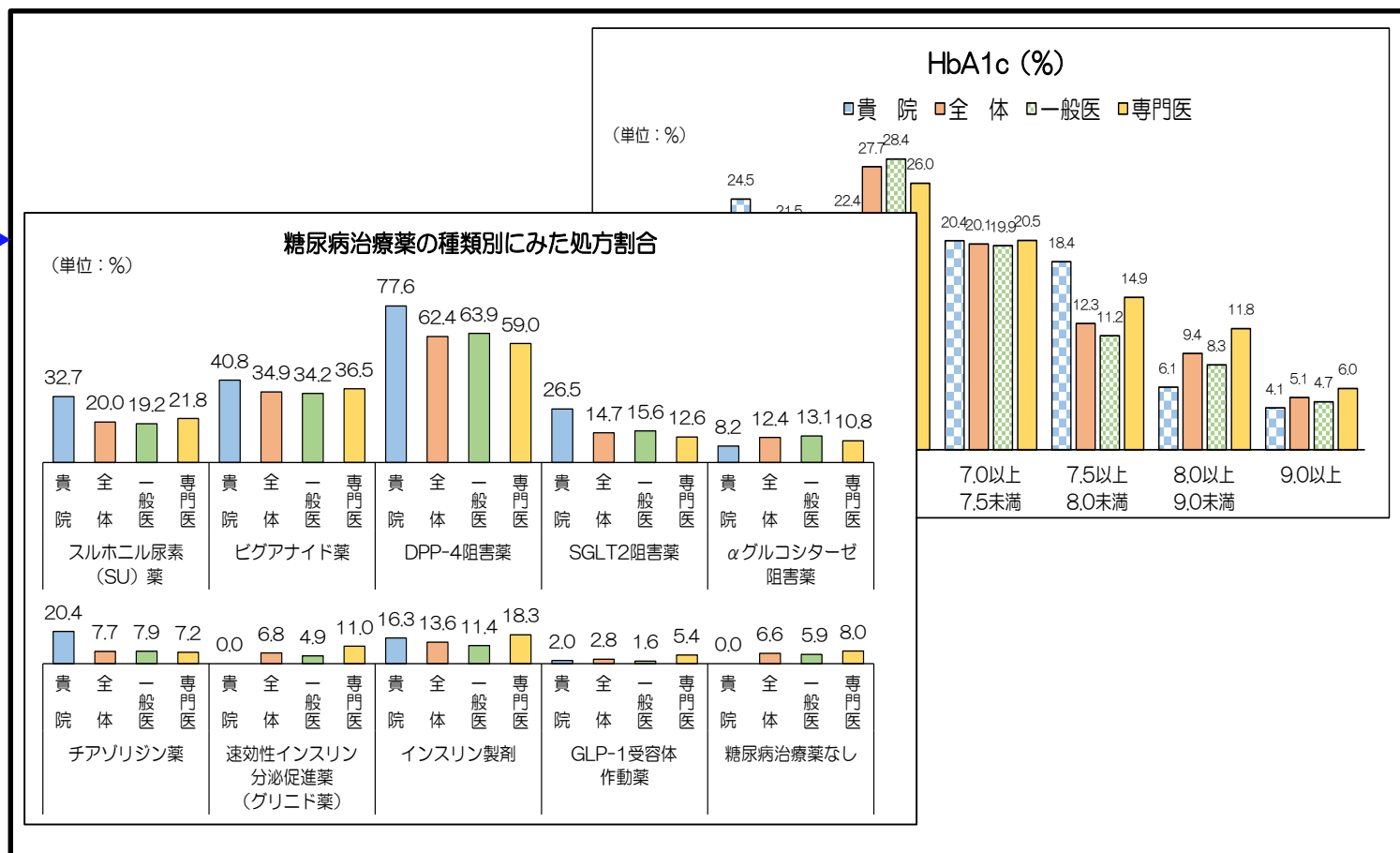
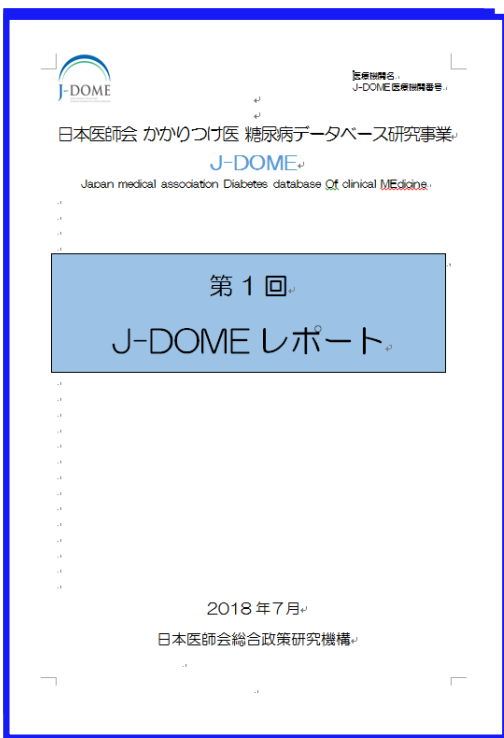
- 定期通院する2型糖尿病患者
- ~50名程度、多い場合は~100名程度を登録
- 特定の日もしくは特定の期間で

症例登録方法はシンプルに



全参加施設にJ-DOMEレポート送付

- 医療機関別に症例分析結果を報告
- 全国、一般医、専門医の症例と客観的に比較可能



感謝状も送付 -院内掲示用

院内掲示で地域の
患者さん、医療機関
へ情報提供



J-DOME 研究事業体制

総括	日本医師会 横倉 義武
事業責任者	日本医師会 今村 聡、羽鳥 裕
研究責任者	日医総研 江口 成美
事務局	日医総研 佐久間 伸英
J-DOME 研究会議	羽鳥 裕 日本医師会 江口 成美 日医総研
	植木 浩二郎 国立国際医療研究センター研究所
	辻本 哲郎 国立国際医療研究センター病院
	鳥居 明 鳥居内科クリニック
	南雲 晃彦 ナグモ医院
	○ 野田 光彦 埼玉医科大学
	松葉 育郎 松葉医院
	山本 雄士 ソニーコンピュータサイエンス研究所
J-DOME 運営会議	○ 今村 聡 日本医師会 羽鳥 裕 日本医師会 江口 成美 日医総研
	植木 浩二郎 国立国際医療研究センター研究所
	大江 和彦 東京大学
	中島 直樹 九州大学
	野田 光彦 埼玉医科大学
	宮川 政昭 神奈川県内科医学会
	宮田 裕章 慶應義塾大学
	厚生労働省 健康局 健康課 (オブザーバ) 厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 (オブザーバ)

敬称略 五十音順

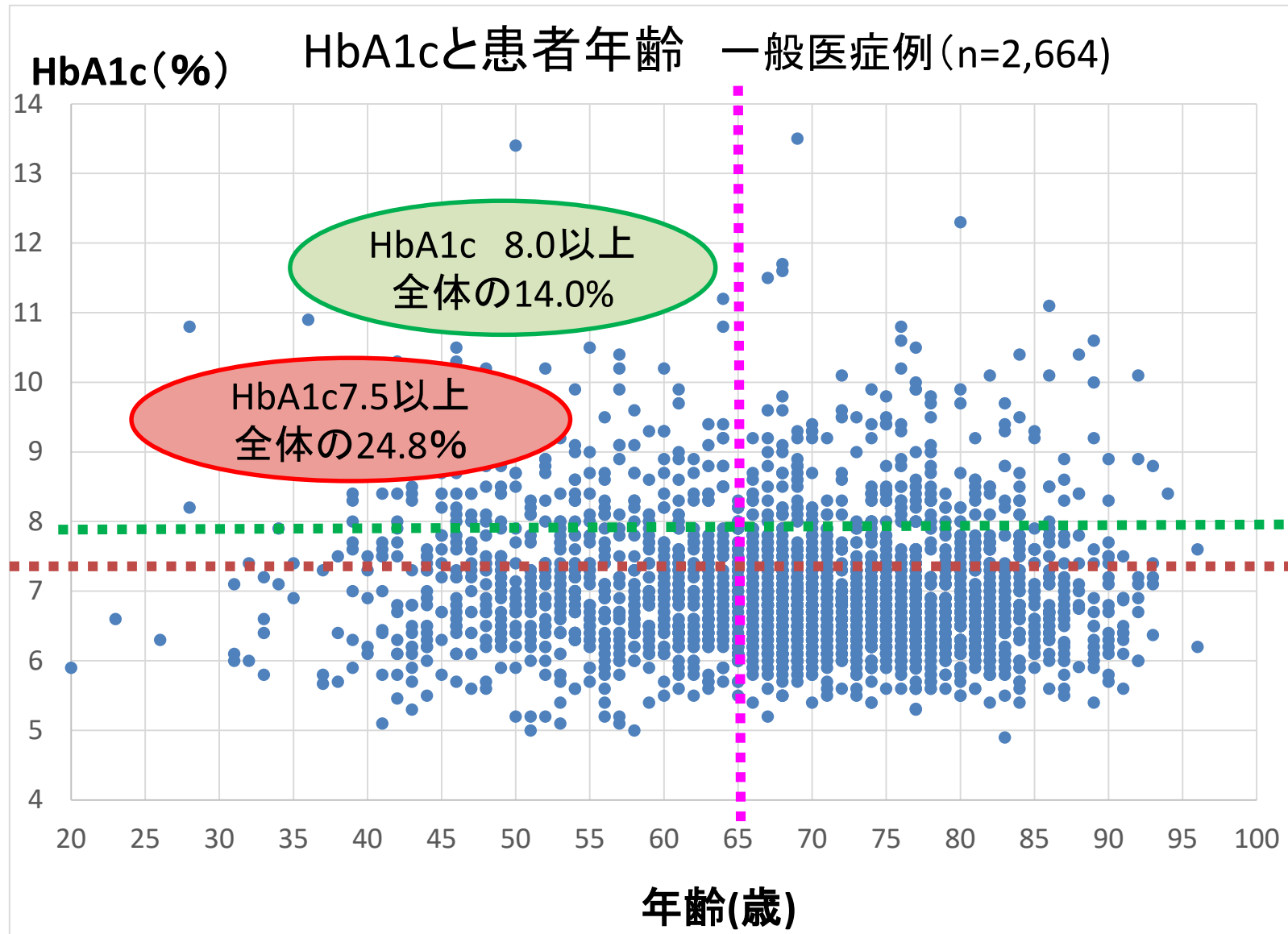
2. かかりつけ医の糖尿病症例について

患者の状態（一般医と専門医）

- 2018年10月（1回目症例登録のみ） n=4,028
- 平均年齢は67.7歳、うち一般医の症例では68.7歳、専門医の症例では65.8歳

	全体 (n=4,028)		一般医の症例 (n=2,664)		専門医の症例 (n=1,364)		
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
年齢	67.7	11.89	68.7	11.77	65.8	11.91	P<0.01
体重	65.3	14.30	64.9	13.97	65.9	14.90	
BMI	25.1	4.37	25.1	4.28	25.0	4.53	
収縮期血圧	130.3	15.15	131.0	14.87	128.7	15.58	
拡張期血圧	73.1	11.16	73.3	10.51	72.7	12.34	
HbA1c (NGSP値)	7.10	0.98	7.04	0.97	7.22	1.00	P<0.01
血清クレアチニン	0.8	0.46	0.8	0.41	0.9	0.54	
eGFR	70.5	21.75	70.3	22.37	70.8	20.58	
血糖（空腹時）	130.1	35.11	130.2	33.85	129.7	39.26	
血糖（随時）	157.6	54.59	157.5	54.95	157.6	54.07	
HDLコレステロール	56.5	16.08	56.5	16.22	56.6	15.83	
LDLコレステロール	106.7	28.92	107.4	28.96	105.5	28.83	

一般医症例にもHbA1cの高い症例が一定割合



※糖尿病専門医への紹介が必要な場合の1つが「①患者個々の血糖コントロール目標が3ヶ月以上達成できない場合」出所:「糖尿病治療のエッセンス」(日本糖尿病対策推進会議)、「かかりつけ医から糖尿病専門医・専門医療機関への紹介基準」(日本糖尿病学会)。高齢者糖尿病の血糖コントロールについても別途基準が設けられている。

糖尿病腎症病期と検査実施の課題

腎症ステージ	一般医の症例	専門医の症例
第1期	61.5%	66.1%
第2期	31.2%	27.7%
第3期	5.4%	4.4%
第4期・5期	1.8%	1.7%
	n=1,035	n=697

(eGFR × (尿アルブミン/クレアチニン比)に基づく)

- 日本腎臓学会の紹介基準※¹に基づく、一般医症例の20.7%が紹介対象
- 尿アルブミン/クレアチニン比の検査値は一般医症例で40.1%、専門医症例で52.9%の登録で低い傾向※²

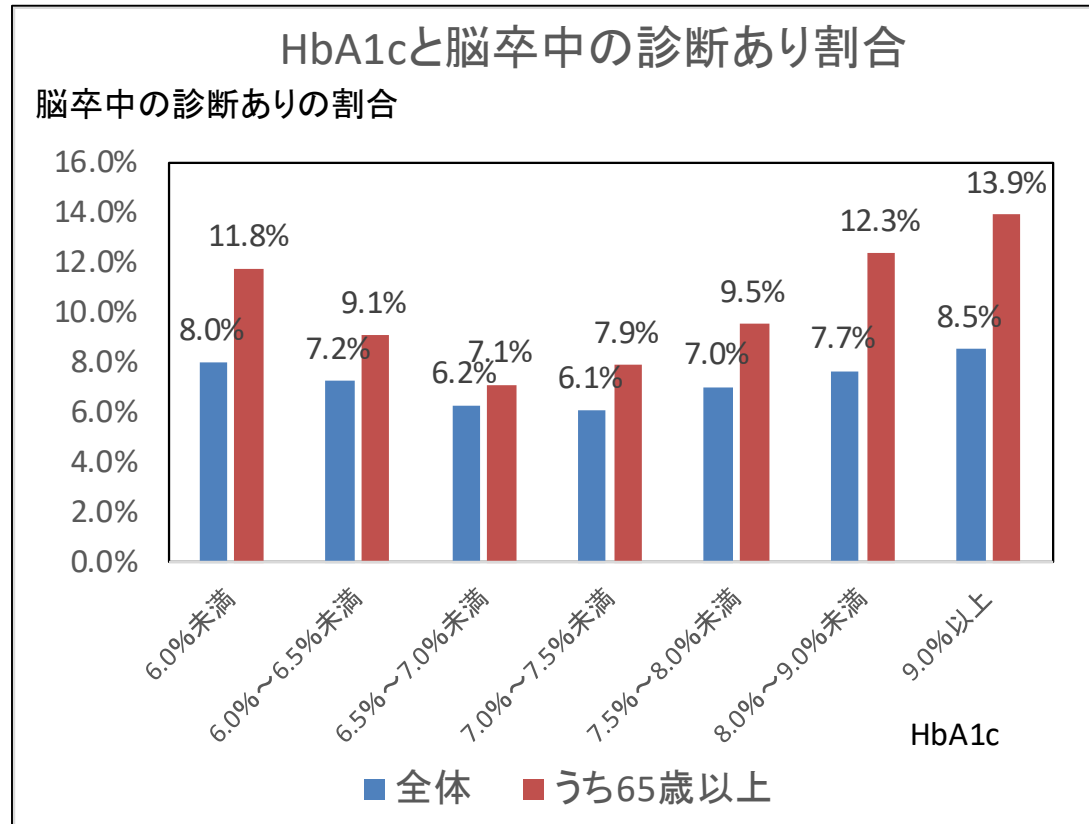
※¹ 「かかりつけ医から腎臓専門医・専門医療機関への紹介基準」

※² 尿蛋白検査値の登録は一般医症例で86.8%、専門医症例で92.4%

家族歴、合併症、併発症など実態

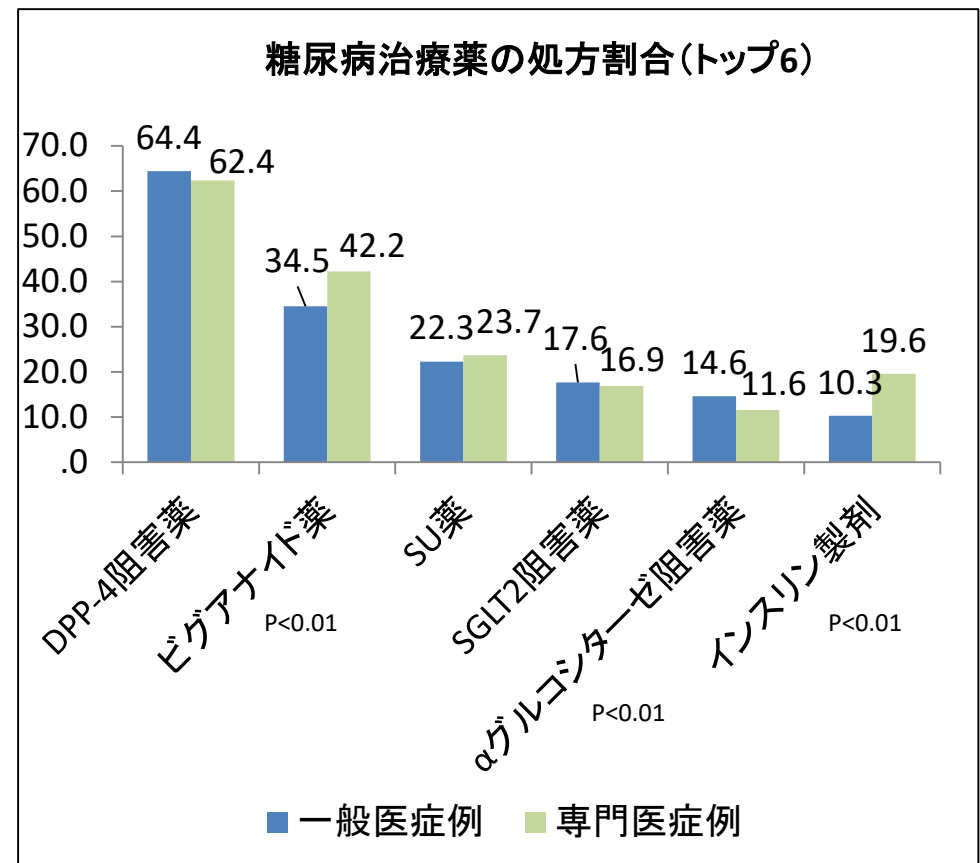
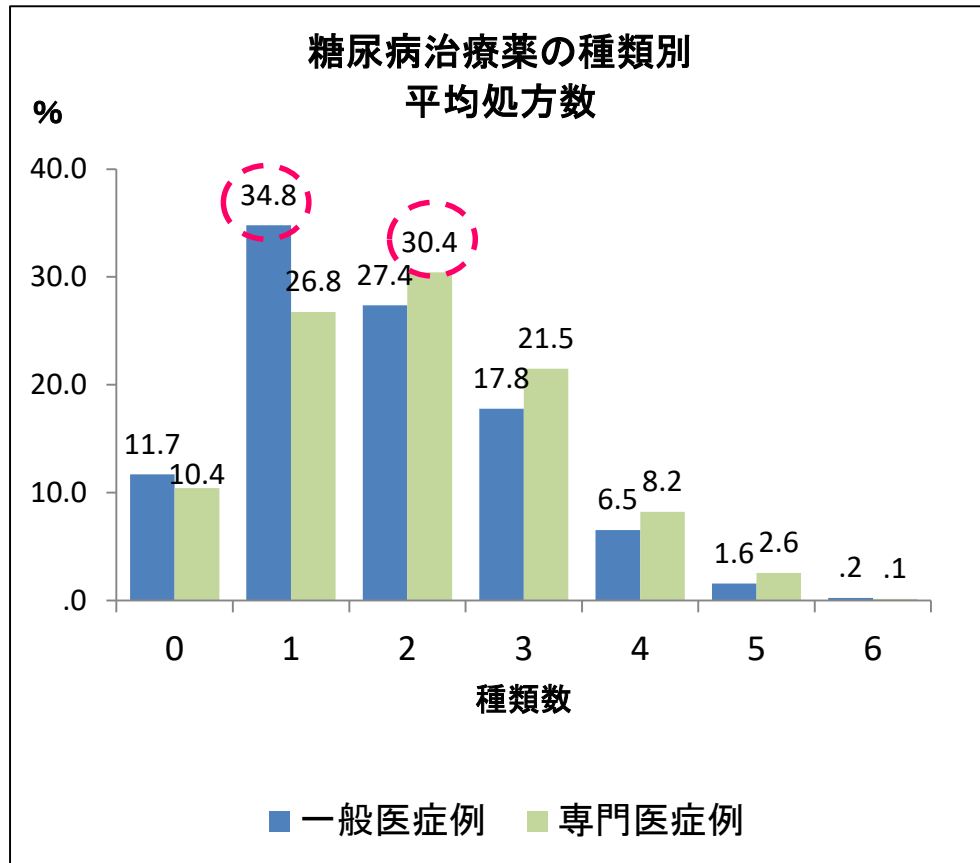
	糖尿病の家族歴				糖尿病網膜症				神経障害				歯周病				認知症(75歳以上)			
	あり	なし	不明、未回答	計	あり	なし	不明、未回答	計	あり	なし	不明、未回答	計	あり	なし	不明、未回答	計	あり	なし	不明、未回答	計
一般医症例	39.2%	38.7%	22.1%	100%	8.6%	58.8%	32.5%	100%	10.1%	80.3%	9.6%	100%	12.6%	41.6%	45.8%	100%	10.4%	83.3%	6.3%	100%
専門医症例	47.6%	41.7%	10.7%	100%	19.4%	62.4%	18.2%	100%	17.6%	74.0%	8.4%	100%	16.8%	34.0%	49.2%	100%	10.2%	88.3%	1.5%	100%

- HbA1cと脳卒中の診断あり割合の関係



糖尿病治療薬の処方の実態

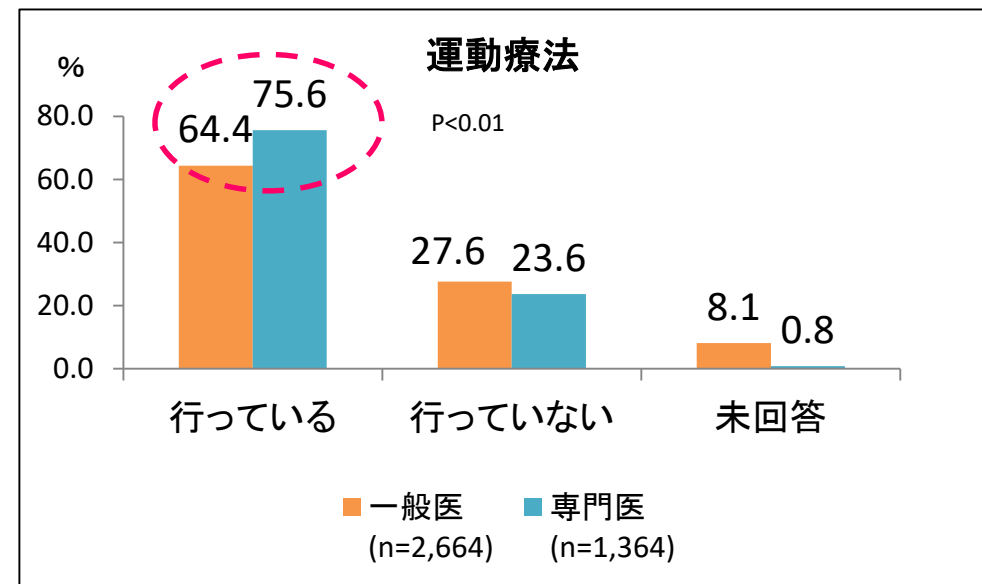
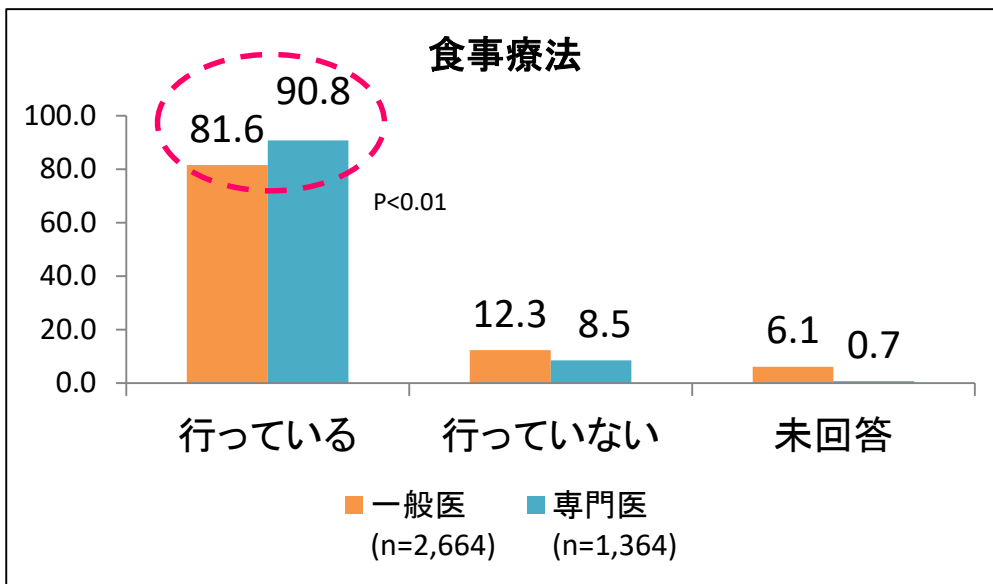
- 一般医症例では1剤が34.8%、専門医症例では2剤が30.4%で最も高かった



※配合薬は各々の成分を登録

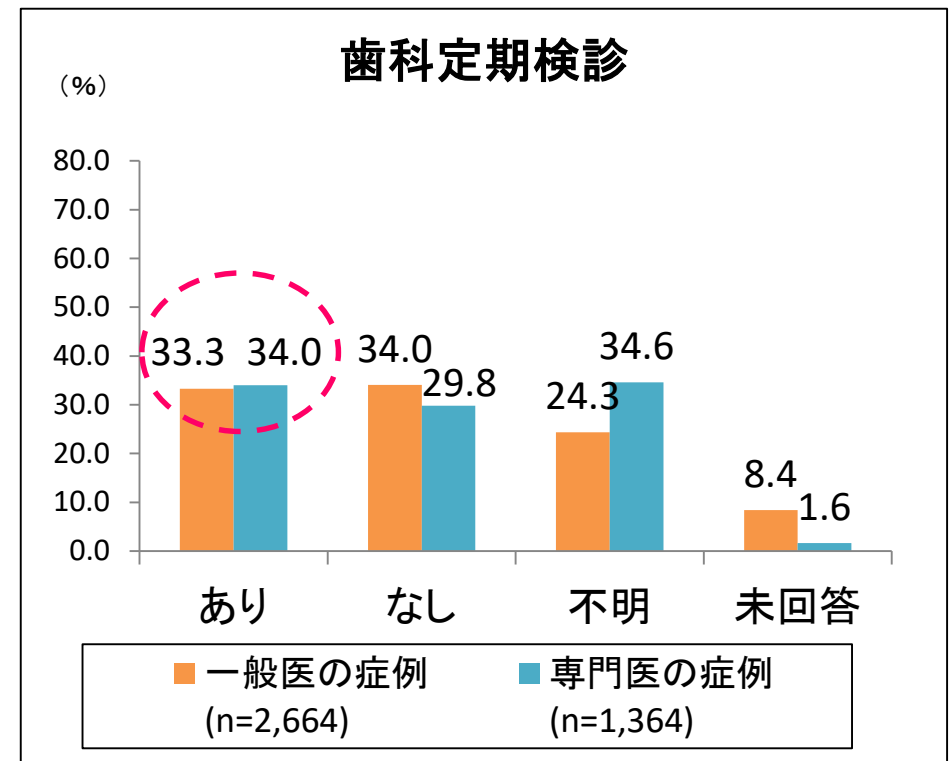
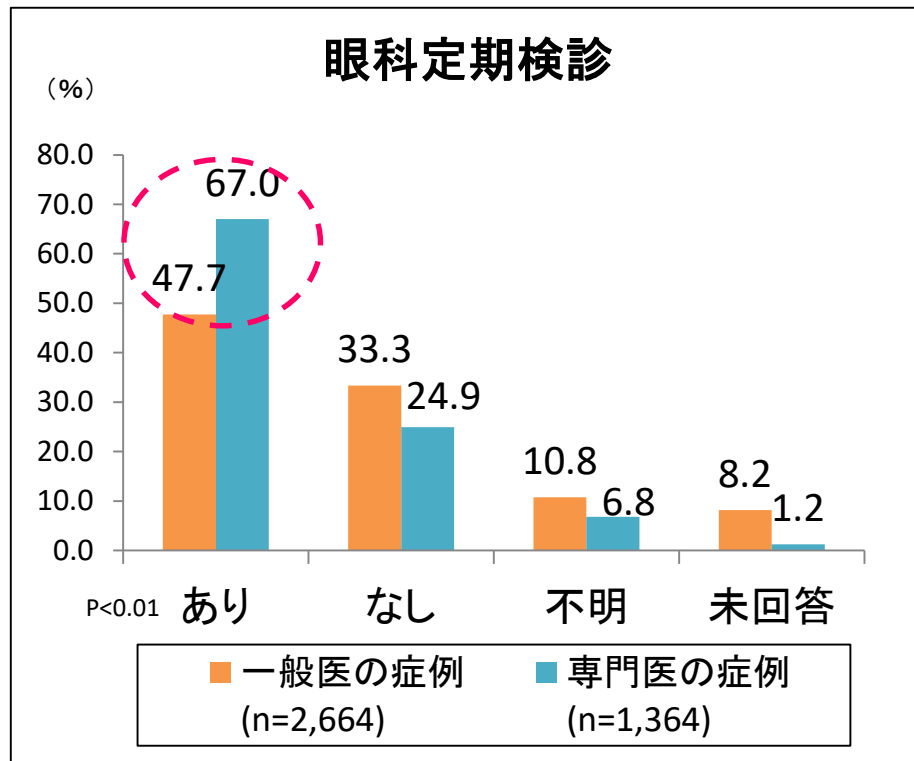
運動療法と食事療法の指導率は高い割合

- 食事療法の指導の実施は一般医の症例の81.6%、専門医の症例では90.8%
- 運動療法の指導は一般医の症例の64.4%、専門医の症例で75.6%



眼科、歯科との連携は今後の課題

- 眼科定期受診は一般医症例で47.7%、専門医は67.0%
- 歯科定期受診は一般医症例で33.3%、専門医は34.0%



現時点でのまとめ

- かかりつけ医（一般医）も糖尿病が進行した多くの患者に対応している
=> 今後、症例を増やして検証
- かかりつけ医への情報提供、専門医との連携、眼科、歯科との連携の推進
=> 支援策

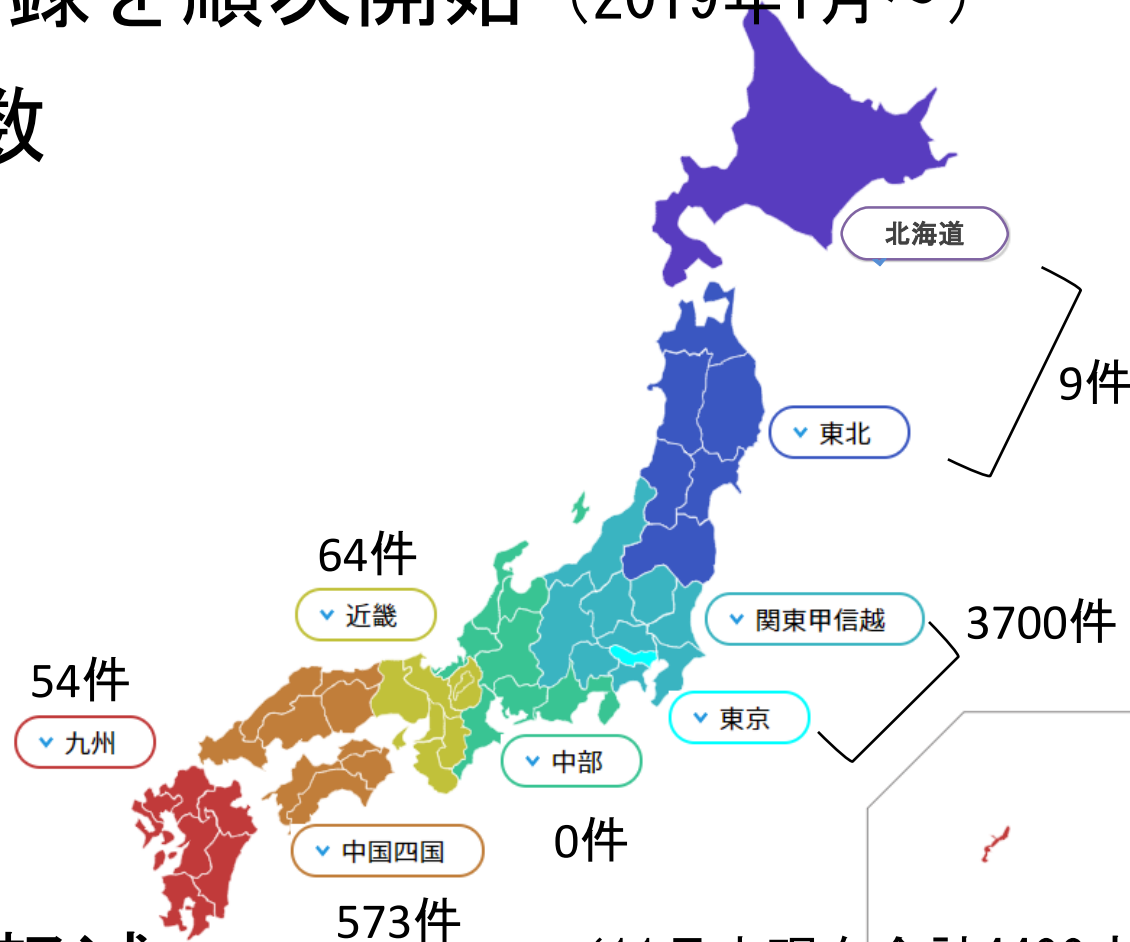


3. J-DOMEの今後の予定

1. 参加施設・症例を増やす
2. 重症化予防事業との連携
3. 解析研究の実施とフィードバック

1. 参加施設・症例を増やす

- 1回目症例登録の依頼継続
- 2回目症例登録を順次開始 (2019年1月～)
- 地域別症例数



(11月末現在合計4400症例)

- 入力負担の軽減

2. 地域の重症化予防事業との連携

2018年9月19日

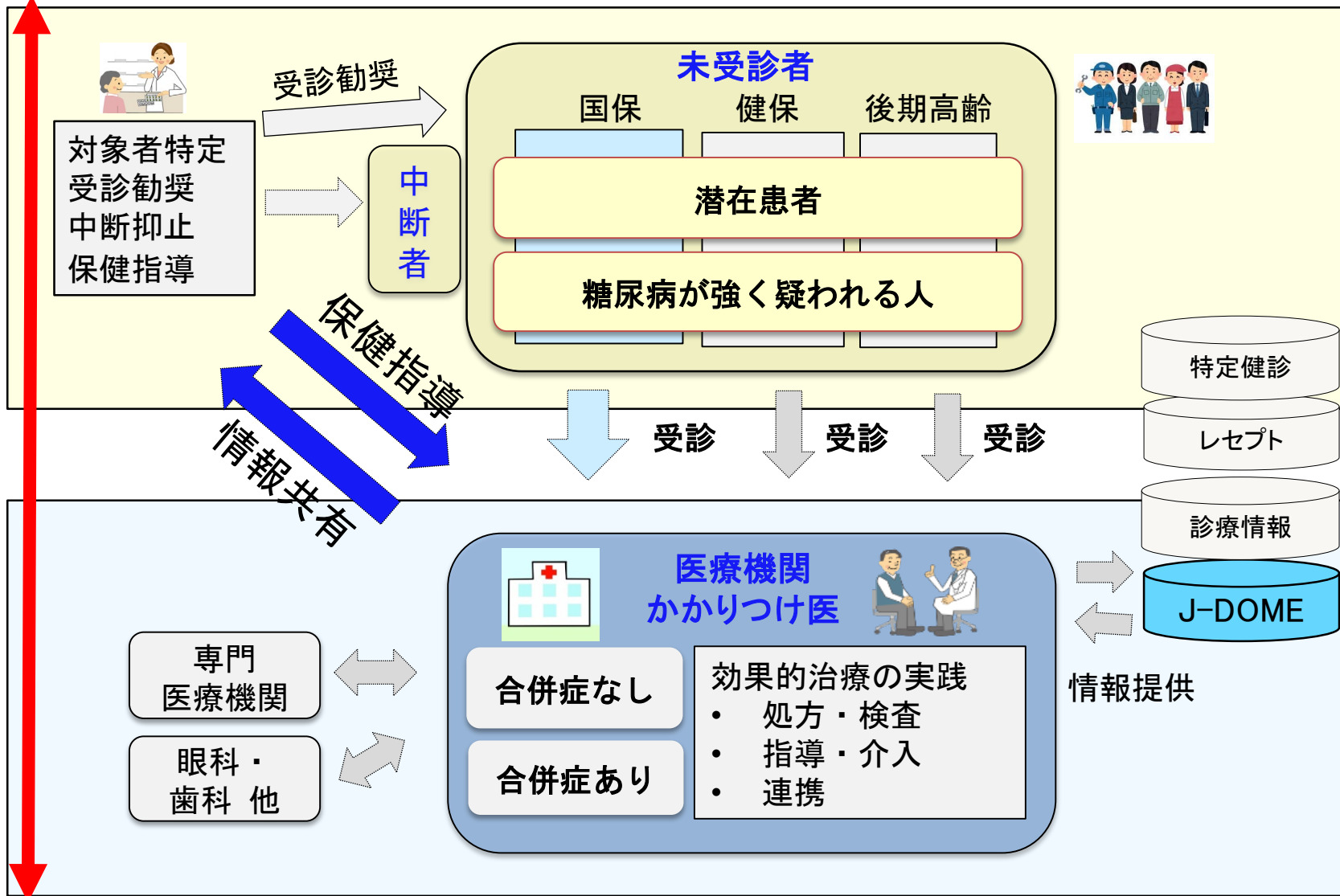
- 埼玉県にて「かかりつけ医の糖尿病診療の推進と重症化予防に向けた連携協定」締結
- 埼玉県の糖尿病性腎症重症化予防事業とJ-DOMEが連携

埼玉県、埼玉県医師会、埼玉糖尿病対策推進会議
日本医師会、日本糖尿病対策推進会議



かかりつけ医の糖尿病診療の推進と重症化予防に向けた連携

行政・保険者主導の重症化予防



医療者主導の効果的治療の実践

都道府県・市町村

医師会・糖尿病対策推進会議

かかりつけ医の糖尿病診療の推進と重症化予防に向けた
連携協定

糖尿病重症化予防は、わが国の健康寿命の延伸を実現するための柱の一つであり、都道府県・市町村など行政が主体となり、地域住民に向けた糖尿病重症化予防プログラムの取り組みを全国的に進めているところである。

一方、重症化予防において地域のかかりつけ医の役割は大きく、日本医師会は重症化予防プログラムとの連携を推進するとともに、「日本医師会かかりつけ医糖尿病データベース研究事業(J-DOME)」でかかりつけ医の診療の向上と支援を進めているところである。

これら地域の重症化予防プログラムと日本医師会事業との連携を深めることにより、地域の重症化予防プログラムの対象者を増やし、広範かつ効果的に糖尿病重症化予防を推進することが可能である。そこで、公益社団法人日本医師会、日本糖尿病対策推進会議、一般社団法人埼玉県医師会、埼玉糖尿病対策推進会議及び埼玉県は、「かかりつけ医の糖尿病診療の推進と重症化予防に向けた連携協定」を締結し、以下宣言する。

(宣言)

第1条 日本医師会、日本糖尿病対策推進会議、埼玉県医師会、埼玉糖尿病対策推進会議及び埼玉県は、連携して以下の取り組みを進める。

1. 行政主体の糖尿病重症化予防プログラムと医師会(及び糖尿病対策推進会議)主体の研究事業は、それぞれの推進において連携強化を図る。
2. 国民の健康寿命の延伸に向けて、糖尿病重症化予防を広範に進めるとともに、かかりつけ医による効果的な糖尿病診療の推進を行う。

(内容)

第2条 上記の宣言に示す取り組みは以下の内容を含む。

- 日本医師会(及び日本糖尿病対策推進会議)は、かかりつけ医の診療情報の収集分析及び情報提供等を通じて、地域における診療の向上に努める。
- 埼玉県医師会(及び埼玉糖尿病対策推進会議)は、診療情報の活用と重症化予防プログラムの普及等を図り、地域の糖尿病診療を推進する。
- 埼玉県は、医師会及び糖尿病対策推進会議との連携を図りながら、保健指導等を含む重症化予防プログラムに係る取り組みを推進する。

(その他)

第3条 この協定に定めのない事項について定める必要が生じたとき、又はこの協定に定める事項を変更しようとするときは、日本医師会、日本糖尿病対策推進会議、埼玉県医師会、埼玉糖尿病対策推進会議及び埼玉県で協議の上、その内容を決定するものとする。

- 2 本協定の有効期間は、平成30年9月19日から平成31年3月31日までとする。ただし、期間満了の1か月前までに何ら申出がない場合は、更に1年延長されるものとし、以後についても同様とする。

この協定の締結を証するため、本書3通を作成し、日本医師会長(日本糖尿病対策推進会議会長)、埼玉県医師会長(埼玉糖尿病対策推進会議会長)及び埼玉県知事がそれぞれ署名の上、各自その1通を保有する。

平成30年9月19日

公益社団法人 日本医師会 会長
日本糖尿病対策推進会議 会長

横倉義武

一般社団法人 埼玉県医師会 会長
埼玉糖尿病対策推進会議 会長

金井忠男

埼玉県知事

上田清司

3. 解析研究の実施とフィードバック

- かかりつけ医にかかる患者の継時的なアウトカムデータを用いた症例研究
- 情報提供、症例レジストリの経済効果分析
- 協力医療機関、外部研究者にも参加いただき、All Japanで研究を進める
- 参加医療機関への定期的なフィードバック

おわりに

糖尿病診療を推進するための基礎データ蓄積に向けて、地域の糖尿病対策推進会議、医師会、関係団体でのご協力をよろしくお願いいたします。



日本医師会
かかりつけ医
糖尿病研究事業

J-DOME

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION
DIABETES DATABASE OF CLINICAL MEDICINE


症例レジストリを活用した効果的
治療に向けて協力施設を募集しています

J-DOMEは、糖尿病治療の促進と重症化予防を
目指しています。是非ご参加ください。

かかりつけ医
診療所・中小病院

症例データ
フィードバック
情報提供

J-DOME
症例データベース

問い合わせ先：J-DOME事務局 電話03-3942-7215
ホームページ <https://jdome.jmari.med.or.jp> 



 公益社団法人 日本医師会

ご参加・お問い合わせは
こちらへ

J-DOME事務局

jdome@jdome.jp

◆日医総研

TEL: 03-3942-7215

FAX: 03-3946-2138

<https://www.jdome.jp>

